



国民の森林・国有林

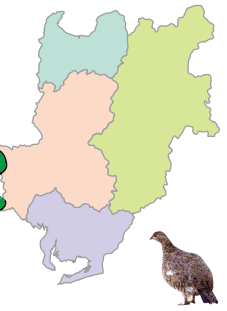
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



上高地の記念式典でごあいさつされる皇太子殿下

初の国民の祝日「山の日」上高地で記念式典

山に親しみ、その恵みに感謝するとともに次世代へ引き継いで

主な項目	○ 初の国民の祝日「山の日」上高地で記念式典	P2
	○ 各地からのたより	P4
	○ シリーズ「森林官からの便り」	P7
	○ シリーズ「ご当地自慢」	P8

初の国民の祝日「山の日」 上高地で記念式典

【中信署】八月十日及び十一日の両日、初めての国民の祝日を祝う第一回「山の日」記念大会が開催されました。十一日の午前中、北アルプスの玄関口上高地において記念式典が、午後から松本市の市民芸術館において祝祭式典が開催されました。



上高地での記念式典「未来への誓い」朗読

当署では、第一回「山の日」全国記念大会を迎えるに当たり、各種会議、イベントにおいて「感じよう、山の恵み、森の恵み」の幟の掲揚や法被の着用、官用

車にステッカーを貼り積極的に広報活動を行い大会を盛り上げました。また、第一回「山の日」全国大会の運営委員会の一員として、大会の成功に向け活動を推進しました。

記念式典が開催された上高地は、穂高連峰がはっきりと見渡せる晴天に恵まれ、多くの登山者や観光客の姿がありました。記念式典では、皇太子殿下が「山の日の誕生を機に、ここ上高地から山の価値を国内外に発信し、多くの人が山に親しみ、その恵みに感謝するとともに次世代へ引き継いでいくことを願う」とごあいさつされました。また、地元小学校の六名が「山は私たちの宝物。きれいな山、自然や文化を守るために、自分達にできることから始めましょう」とする『未来への誓い』を朗読しました。



上高地会場のブース



松本城会場のブース

祝祭式典では、歌詞を一般募集して作った「山はふるさと」を地元の波田少年少女合唱団により披露されました。最後に松本市長より、来年の開催地栃木県の環境森林部長へ、山をかたどり作成された「山の日帽」を手渡し式典が終了しました。

記念大会の開催期間中、中信署からは、スタッフとして参加するとともに、上高地と松本城会場にそれぞれブースを設け、山の日PRに努めました。今後も、多くの方が山に親しんでいただくとともに「山の恵み、森の恵み」を感じていただけたらと思います。

中部森林管理局総合防災訓練 開催される

【企画調整課】九月一日、中部森林管理局において、総合防災訓練を実施しました。



実際の災害時を想定して本部設置 (訓練)

管内で発生した近年の災害を振り返ると、平成二十六年七月九日の南木曾町土石流災害、八月十五日からの高山市等の豪雨災害、九月二十七日に発生した御嶽山噴火災害、十一月二十二日に発生した長野県神城断層地震災害等が挙げられますが、中部森林管理局では、その都度、災害対策本部を設置し対応してまいりました。

今年度の訓練では、大規模地震発生による停電や通信障害等を想定し、①災害発生時における迅速な本部体制・機能の確立、②各署等との連絡体制の確立と円滑な情報共有、③全職員等を対象とした安否確認の達成の三つを目標に掲げて実施しました。

具体的には、本部付職員の徒歩等による参集、発電機によるパソコンの稼働、衛星携帯電話による署等との通信、伝言ダイヤル等を利用した安否確認、関係機関への職員派遣やヘリコプターを活用した緊急調査のシミュレーションなど、実際の災害時の対応をイメージして行いました。

今回の訓練を通じて得られた改善点については早期に対応し、有事における迅速かつ適切な対応が行えるよう、取り組みを強化する考えです。



本部長への報告 (訓練)

森の大切さを学ぼう!

夏休み親子体験セミナーを開催

「名古屋事務所」夏休みも終盤となった八月二十五日、「熱田白鳥の歴史館」において、一般公募により参集した親子を対象とし、「いま、日本の森林はどうなっているのだろうか?木を使って環境を守ろう」と題したセミナーと、「FCA」



セミナーの様子 森林で仕事をするために!

(フォレストサークルあいち)の協力を得て、木工クラフト教室を開催しました。

この催しは東海農政局「消費者の部屋」が主催する夏休みキッズプロジェクトの一環イベントで「夏休み親子体験セミナー」として開催され、中部森林管理局もこのイベントに協力したものです。

参加した名古屋市内の親子九組二〇名は、はじめに東海農政局による開校式の後、森林で仕事をするための装備を着用した名古屋事務所職員が、森や木を使う大切さを紙芝居により話をすると日頃聞き慣れない日本の森林の現状や木を使うことの大切さに目を丸くして聞き入っていました。

セミナーの後、「FCA」九名の皆さんの指導を受けながら、スギ材のミニ椅子



「もっくん」作り、お母さんのほうが夢中だよ!



ミニ椅子の組み立て 設計図と悪戦苦闘中!

子、桜の枝のストラップ「もっくん」木曾ヒノキのマイ箸づくりそれぞれ挑戦しました。工作中は親子が夢中になり、時折「お母さんはゲームを買ってくれないの!」と、微笑ましい親子の会話があるの!と、

ちこちで聞こえるなど、親子で悪戦苦闘しながら参加者全員が三つの作品を作り上げました。

最後の閉校式では東海農政局消費・安全調整官から全員に修了証書が手渡され、参加者からは、「楽しかった」、「手が痛くなっただけなんとか椅子を作りあげられて良かった」、「削った箸の匂い気持ちいいね」など感想が聞かれ、親子共々夏の終わりの充実した一日となったようです。

富士見森林祭り二〇一六

【技術普及課】八月二十七・二十八日の二日間、長野県諏訪郡富士見町の富士見パノラマリゾートにおいて、一般の方に森林や木を身近に感じてもらうことを目的として『山の日』制定記念「富士見森林祭り(ふじみもりまつり)二〇一六」が開催されました。森林・林業・木工関係者等が参加する当イベントに、中部森林管理局も参加しブース出展を行いました。

当イベントは、昨年まで一般社団法人木暮人倶楽部が主催してきた「木暮人祭り」を、地元の実行委員が中心となり運営する形式に改めたもので、中部森林管理局は、前身の木暮人祭りを含めて今年度で四回目の参加となりました。

ブースでは、ヒノキのマイ箸作り、除伐材の輪切りへの絵付け、ミニ椅子作

中部局では、これからも森林・林業関係のイベント等に参加し、森林・林業の大切さ、国有林について、ニホンジカ対策等をPRすることとしています。

「ミニ椅子作りを体験した方からは「自分の手で作るから愛着が湧く」、箸作りで初めてかんなを使用した子どもからは「するっとかけることができると気持ち良い」といった声がありました。初日は、あいにくの雨天でしたが二日目には天候に恵まれ、親子連れや地元の方を中心に約一五〇名がブースを訪れ木工クラフトやパネル展示を楽しんでいました。



中部局のブース



帆足治山技術官からの説明

長野県主催、治山技術研修を 中信署管内で開催

「治山課」長野県主催の技術研修が九月七日、中信森林管理署管内にある民有林直轄治山事業地（姫川地区）において開催され、長野県森林づくり推進課及び各地方事務所から十二名の治山担当者が参加されました。

姫川地区においては、直轄治山事業と直轄地すべり防止事業を行っており、両事業とも長野県等からの要請を受け、昭和四十八年度に事業着手しています。現在、平成三十三年度の完成に向け、事業は佳境を迎えつつあります。



地すべり防止工事の集水井の見学

完了とともに県へ引き継ぐため、施設の設置状況や効果について理解が深まるように心がけ、現場を案内しました。

当日は、台風13号の接近に伴う前線の影響で天候が心配されましたが、幸いにも雨に降られることなく予定していた研修を無事終えることができました。

現地では、帆足治山技術官（姫川治山事業所）から山腹工事における緑化試験の成果や今後の施設計画などについて説明が行われ、参加者からは資機材の運搬方法や冬期における積雪の影響など、多くの質問が出されました。

また、既設谷止工の補修工事（増厚・高上げ）現場では、長野県での施工事例が少ないこともあり、目的や構造等について意見が交わされました。次に、地すべり防止工事を行っている

各地からのたより

富山県との協働事業

「とよまの山岳環境整備
ボランティア」を実施

「富山署」八月十一日の山の日制定を記



滑り止め板を設置作業中

木地屋川区域を案内し、集水井の排水ボーリングを見学していただきました。井筒の構造や安全対策に至るまで幅広い意見交換が行われ、現場見聞による技術者間の交流が図られました。今回の技術研修では、参加者との活発な意見交換により、有意義な情報共有が図られたと思います。十月中旬には、伊那谷総合治山事業所管内にて直轄事業地を案内する計画もあり、中部森林管理局治山課としては引き続き、長野県等と連携・調整を図りながら直轄事業を着実に進めていきたいと考えています。